

結成から8年 全国大会をみざす神奈川県予選でついに!

初の初戦突破

令和四年度 全国高等学校定時制通信制
バスケットボール大会 神奈川県予選会

夕手スポ

橘高等学校定時制
運動部通信
2022.5.30
第104号

5月15日(日)、相模向陽館高校で
全国高校定通制バスケットボール大会
の神奈川県予選1回戦が行われた。相手
は横須賀市立横須賀総合高校。橘高校バ
スケ部はこれまでこの大会で1回戦を突破し
たことがない。そのため、ウォーミングアップ
から緊張感が高まっていた。
しかし、試合が始まると、
全員がシュートを決める
活躍を見せた。



石村光太郎(3年)

エースとして
24得点の活躍を見せた

橘高校 83-7 横須賀総合高校



勢いのある攻撃と集中力の
あるディフェンス
第1クォーター
第1クォーターが始まると、早速石村光太郎(3年)が2連続でシュートを決める。そこから勢いの出てきた橘は、土屋優(4年)、牧田風世(2年)、ジョンカルロ(3年)、吉田響(2年)も次々とシュートを決める。さらに守備では、チームメイトと声をかけ合い、集中したディフェンスで相手に得点を許さず、第1クォーターを22-0で終える。

攻撃で相手を圧倒する
第2クォーター
第2クォーターも勢い落とさず攻撃を仕掛け、相手を圧倒する。特に、土屋優は攻守の切り替えが誰よりも早く、味方に声をかけ続けチームの心臓として活躍をした。そして、前半を41-3で折り返す。

公式戦初出場ながら
堂々としたプレーを見せた
吉田響(2年)

全員が自らの役割を果たし

チームのために動いたからこそその勝利

勢いを加速させリードを広げる
第3クォーター
第3クォーターからは水田堅(4年)が初出場を果たす。誰よりもコート内を走り回る熱意溢れるプレーを見せ、公式戦初得点も決める。また、第3クォーターは吉田響が多くのシュートを決め、チームの勢いを加速させる。そして61-7とリードを広げる。

最後まで集中力を持って戦う
第4クォーター
第4クォーターは仲村紫恩(2年)が初出場し、5得点の活躍を見せ、チームをさらに盛り上げる。最後まで集中を切らさず相手に圧倒し、最終的には83-7で圧勝することができた。

部員全員が
シュートを決める!

キャプテン
土屋優(4年)

声を出して
盛り上げ続けた
牧田風世(2年)

(バスケットボール部顧問 藤生昇)